中学歴史プリント（書き取り）
弥生時代 No.9

名前

得点 ／19

1. 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？
2. 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？
3. 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
4. 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？
5. 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？
6. 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
7. 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？
8. 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？
9. 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式の道具として発展した？
10. 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
11. 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
12. 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
13. 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？
14. 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
15. 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？
16. 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？
17. 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？
18. 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？
19. 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「弥生時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.9 弥生時代

言えた　／19

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、後漢の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。	後漢	□
2	稲作が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。	稲作	□
3	卑弥呼は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。	卑弥呼	□
4	青銅器は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鋳造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。	青銅器	□
5	鉄器は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。	鉄器	□
6	金属器には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。	金属器	□
7	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。	九州地方	□
8	柱の途中に板状の出っ張り（ネズミ返し）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。	ネズミ返し	□
9	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に祭祀の場で神聖な道具として使われました。	祭祀	□
10	吉野ヶ里遺跡は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。	吉野ヶ里遺跡	□
11	吉野ヶ里遺跡は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。	吉野ヶ里遺跡	□
12	漢鏡は、中国の漢王朝で鋳造された銅鏡で、高い鋳造技術による精巧な文様が特徴です。	漢鏡	□
13	『後漢書』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。	後漢書	□
14	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『魏志倭人伝』と呼ばれます。	魏志倭人伝	□
15	銅鐸は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。	銅鐸	□
16	当時の日本は「百余りの小国」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。	小国	□
17	光武帝は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。	光武帝	□
18	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である後漢の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。	後漢	□
19	ローマ帝国は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。	ローマ帝国	□

言えなかった用語ノート